

弊チーム所属選手の行為についてのお詫び及びチームとしての対応

このたびは、2014年12月7日(日)に新横浜スケートセンターにて開催された第82回全日本アイスホッケー選手権決勝終了後の表彰式にて、弊チーム所属の一部選手が、一社会人として、また、スポーツ選手として大変恥ずべき下記行動をとりました。

- ・服装が乱れたまま表彰式に並んだ
- ・握手を拒んだ
- ・授与された準優勝メダルを式中に首から外した
- ・表彰会場となったアイスリンク上から退場した直後に準優勝メダルを捨てた

対戦相手、会場にお越しのファンの皆様、大会運営に尽力頂いた関係各位、協賛各社をはじめ多くの皆様に、大変不快な思いをさせてしまいご迷惑をお掛けしましたことを深く反省し、心からお詫び申し上げます。

常に勝敗と隣り合わせとなるスポーツ選手として、その勝ち負けを試合終了後にまで持ち越す行為は大変恥ずべき行為であります。また、その行為により、対戦相手だけでなく、会場に観戦に訪れた多くのアイスホッケーファン、大会運営関係者、協賛社様等にとりまして、大変重要な表彰式という素晴らしい舞台を台無しにしたことにつきまして、重ねてお詫び申し上げます。

同会場にて、選手と同様に優勝を信じ最後まで熱い声援を送り続けて下さったフリーブレイズサポーターが、試合終了後にその悔しさをこらえ、勝者チームとそのサポーターにエールを送った行為と比較しても、弊チーム選手がとった行為がいかに恥ずべき行為であったかを深く反省しております。

チームとしては今回の件を深く反省し、準優勝を表彰されるべき式典にて不適切な態度であったことを踏まえチームとしての第82回大会における準優勝の返上、橋本三千雄及び河合卓真の2選手につき、次回のチーム公式戦であるアジアリーグアイスホッケー対デモンサンム12月20日(土)(八戸)での1試合出場停止、チームを統括管理する立場にある東北アイスホッケークラブ株式会社代表取締役社長の減俸(月額報酬の10%×3か月)、とすることと致しましたので、合わせてご報告させていただきます。

今後は、今回の件で大きく失った信頼を取り戻すべく、チーム全体の問題としてとらえ、選手・スタッフ一丸となって、スポーツマンシップの再教育を徹底してまいります。

2014年12月8日

東北アイスホッケークラブ株式会社